

平成30年度に係る業務の実績に関する評価結果
国立大学法人大阪教育大学

1 全体評価

大阪教育大学は、教育の充実と文化の発展に貢献し、とりわけ教育界における有為な人材の育成を通して、地域と世界の人々の福祉に寄与することを使命としている。第3期中期目標期間においては、教員養成及び教育・学習支援人材養成の広域的拠点として、学長のリーダーシップのもと全学的な改革に取り組み、我が国の教育界を牽引するグローバル教育人材を養成することを基本的な目標としている。

この目標の達成に向け、学長のリーダーシップの下、博士人材向け教員能力開発プログラムにおいて、中等教育における理数教育での中核的な役割を担う人材を育成するとともに、博士学位取得者等へのキャリアパスの拡大を図る「高度理系教員養成プログラム」を提供するなど、「法人の基本的な目標」に沿って計画的に取り組んでいることが認められる。

（「戦略性が高く意欲的な目標・計画」の取組状況について）

第3期中期目標期間における「戦略性が高く意欲的な目標・計画」について、平成30年度は主に以下の取組を実施し、法人の機能強化に向けて積極的に取り組んでいる。

- 学校現場で必要とされる教科領域の教育研究を追求するとともに、一人一人の子供の中に絡み合っただ複合的に存在する多様なニーズへの対応を図るため、平成31年4月に教職大学院を現3コース入学定員30名から4コース入学定員150名の教職大学院へ改組することを決定している。これを受けて、教職大学院運営準備委員会において、運営体制の整備案「平成31年度以降の教職大学院の組織及び業務内容等について」を作成し、各種会議及び運営委員会等の責任と役割を定めるとともに、大学ホームページやリーフレット、大学院案内を用い広く学内外に周知を行っている。（ユニット「教員養成機能の強化と特色ある大学づくりのための抜本的組織改革」に関する取組）
- 博士人材向け教員能力開発プログラムにおいて、中等教育における理数教育での中核的な役割を担う人材の育成と、博士学位取得者（又は取得予定者）へのキャリアパスの拡大を図る「高度理系教員養成プログラム」を提供しており、日本教育大学協会研究集会での取組の発表のほか、平成30年度は新たに大阪府立大学とも連携を開始する等、プログラムの展開・拡大を図っている。（ユニット「地域レベルの3教育大学による連携プロジェクト（京阪奈三教育大学連携事業）」に関する取組）

2 項目別評価

<評価結果の概況>

	特 筆	一定の 注目事項	順 調	おおむね 順調	遅れ	重大な 改善事項
(1) 業務運営の改善及び効率化			○			
(2) 財務内容の改善			○			
(3) 自己点検・評価及び情報提供			○			
(4) その他業務運営			○			

I. 業務運営・財務内容等の状況

(1) 業務運営の改善及び効率化に関する目標

①組織運営の改善 ②教育研究組織の見直し ③事務等の効率化・合理化

【評定】 中期計画の達成に向けて順調に進んでいる

(理由) 年度計画の記載13事項全てが「年度計画を十分に実施している」と認められること等を総合的に勘案したことによる。

(2) 財務内容の改善に関する目標

①外部研究資金、寄附金その他の自己収入の増加 ②経費の抑制 ③資産の運用管理の改善

【評定】 中期計画の達成に向けて順調に進んでいる

(理由) 年度計画の記載4事項全てが「年度計画を上回って実施している」又は「年度計画を十分に実施している」と認められること等を総合的に勘案したことによる。

(3) 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標

①評価の充実 ②情報公開や情報発信等の推進

【評定】 中期計画の達成に向けて順調に進んでいる

(理由) 年度計画の記載2事項全てが「年度計画を十分に実施している」と認められるとともに、下記の状況等を総合的に勘案したことによる。

平成30年度の実績のうち、下記の事項について注目される。

○ 内部質保証の方針及び体制の整備

これまで実施してきた達成状況評価、基礎評価の結果を改革及び改善につなげ、恒常的かつ継続的にさらなる質の保証及び向上を実現するため、「国立大学法人大阪教育大学内部質保証に関する基本方針」を策定している。基本方針において、社会ニーズや学内外の意見、提言等を反映させた大学運営を行うことを内部質保証体制と仕組みにおいて明確に位置付けている。

(4) その他業務運営に関する重要目標

①施設設備の整備・活用等 ②安全管理 ③法令遵守等

【評定】 中期計画の達成に向けて順調に進んでいる

(理由) 年度計画の記載5事項全てが「年度計画を十分に実施している」と認められること等を総合的に勘案したことによる。

Ⅱ. 教育研究等の質の向上の状況

平成30年度の実績のうち、下記の事項について**注目**される。

○ **学校安全に関する取組の発信**

附属池田小学校は、附属池田中学校とともに初のセーフティプロモーションスクール（SPS）認証校となり、後に続く国内外の学校園を先導する学校安全に関する取組を展開しており、同校における他機関からの視察受入れ及び他機関への講師派遣は、平成30年度は19件であり、安全管理の実践が注目され、その実践を広く発信している。また、「安全科」の授業実践と安全管理・不審者対応訓練についてまとめた「学校における安全教育・危機管理ガイド」（平成29年11月発行）は、学校現場に役立てるために出版し、防犯関連紙上でも広く取り上げられている。